

令和7年5月京都府防災会議及び京都府国民保護協議会 結果概要

- 日時 令和7年5月26日（月）10時00分～10時45分
- 場所 WEB会議及び対面で開催
（事務局：京都府庁危機管理センター災害対策本部会議室）
- 出席 防災会議会長・国民保護協議会会長 西脇 京都府知事
防災会議委員 61名（オンライン出席46名、対面出席15名）
国民保護協議会委員 53名（オンライン出席48名、対面出席5名）

■会議概要

1 開会あいさつ（西脇 会長（京都府知事））

昨年の1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、多数の孤立集落の発生や避難生活の長期化など、新たな課題が顕在化したほか、8月8日には日向灘を震源とする地震が発生し、初めて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されたほか、本年3月31日には国から南海トラフ地震被害想定の見直し結果が公表されるなど、地震防災対策の見直しが必要となっており、新たな戦略的地震防災対策指針及び同推進プランの策定を進めてきたところ。

一方、そのほかの自然災害では、昨年9月には能登半島地震の被災地である石川県能登地方を中心に豪雨が襲い、いまだ復旧作業が続いているほか、今年に入り、岩手県大船渡市や愛媛県今治市において大規模な林野火災が発生するなど、あらゆる危機事象への備えに万全を期す必要がある。

本日は、新たな戦略的地震防災対策指針及び同推進プランのほか、近年の災害の教訓や府の施策等を踏まえた地域防災計画の改定など3件について協議いただくとともに、京都府の取組状況等について、報告させていただく。

2 協議事項

① 京都府地域防災計画の改定について（資料1）

（国の防災基本計画の修正に合わせた改定）

- ・避難所外で避難生活を送る在宅避難者等への支援を追記
- ・医療法の改正に伴い、災害支援ナースを保健医療福祉活動チームに追加
- ・災害発生時における避難生活の環境整備のため、TKB（トイレ、キッチン、ベッド）の適切な配置を推進
- ・孤立地域へ物資輸送のためのヘリコプター及び無人航空機等の輸送手段を確保 等

（地域防災計画の震災対策編の基本理念と減災目標の見直し）

- ・新たな「第四次京都府戦略的地震防災対策指針」に掲げた基本理念及び減災目標を反映
- ・指針の実行計画である「第四次京都府戦略的地震防災対策推進プラン」に基づいた地震防災対策を推進

（全国各地での林野火災の多発を踏まえた改定）

- ・林野火災等の突発的大事故が発生するおそれがある段階から情報収集を行うため、事故警戒本部（基本配備）を設置 等

② 第四次京都府戦略的地震防災対策指針及び同推進プランの策定について

- ・主要な活断層による地震の被害想定結果や、令和6年能登半島地震等の近年の災害の教訓等を踏まえ、京都府危機管理センターの機能を最大限活用し、府民の生命と生活を守るため、「死者ゼロ」を目指して策定

③ 京都府水防計画の改定について

- ・一級河川淀川水系古川（城陽市～久御山町）の氾濫危険水位等の変更
- ・府管理河川における洪水浸水想定区域の指定 等

3 報告事項〈資料 4～10〉

- (1) 第三次京都府戦略的地震防災対策指針及び同推進プランの進捗状況について
- (2) 京都府内の地震被害想定見直し結果について
- (3) 南海トラフ地震の被害想定見直し結果（国公表）について
- (4) 「公的備蓄等に係る基本的な考え方」の見直しについて
- (5) 令和 7 年度京都府総合防災訓練について
- (6) 令和 7 年度京都府原子力防災訓練について
- (7) 令和 7 年度近畿地方 DMAT ブロック訓練について
- (8) 国民保護の取組について
- (9) 京都府防災会議会長の専決処分（市町村地域防災計画修正）について

※その他、京都府の取組について資料提供〈参考資料 1～4〉

○会議内容に係る委員からのコメント

●一般社団法人京都府医師会（高階理事）

- ・新たな戦略的地震防災対策指針及び同推進プランについては、非常に精緻な内容に見直されており、今後、しっかりと対策を進められることを期待している。
- ・今回、丹後半島といった地域的な特徴も踏まえ、北部地方を意識した孤立集落対策を検討してきたが、南部地域でも同様に山間地があり、同様の状況が生じる可能性がある。北部だけでなく南部も含め、孤立集落対策に取り組む必要がある。
- ・実際に災害が起これば、医療機関をはじめ防災機関が全力で対応するが、それだけでは、全てに対応することできないため、地域住民などの協力等、様々な協力体制の確保について、京都府で主導いただきたい。
- ・また、様々な機関との協力・協調には、司令塔が必要不可欠であり、京都府危機管理センターの活用し、京都府として防災関係機関をまとめる司令塔機能の確保を進めていただきたい。

5 会議まとめ（西脇 会長（京都府知事））

本日御出席の委員の皆様には、京都府地域防災計画の改定など 3 件の協議事項についてご協議いただき、感謝申し上げます。

意見を頂いた孤立対策については、能登半島地震を踏まえ、半島に着目していた部分はあるが、当然ながら、南部や、その他の地域においても対策を進めてまいりたい。

また、行政など関係機関だけでなく、地域住民などが一丸になって取り組まなければ、頻発化、激甚化する災害には対応できないと考えており、京都府の司令塔機能の強化をっ進めてまいりたい。

今回、改定した地域防災計画と、戦略的地震防災対策指針及び推進プランに基づき、できる限り被災者の命と健康を守り、きめ細やかな対策で被害を最小化して、最終的には死者ゼロを目指して、ハードソフト一体的な地震防災対策を進めてまいりたい。

本日、ご出席の皆様におかれては、風水害、そして、頻発する地震対応について、再度、防災体制の強化に取り組んでいただくようお願いするとともに、御了承いただいた地域防災計画等の実行について、関係機関の皆様としっかりと連携し、取り組んでいきたいと考えており、ご理解、御協力をお願いし、本日のまとめとする。

■結 果

協議事項については承認された。